

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 高砂鐵工株式会社  
 コード番号 5458 URL <http://www.takasago-t.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 吉田 保  
 (氏名) 畑田 正樹

TEL 03-5399-8111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,043	△52.1	△800	—	△857	—	△1,591	—
21年3月期第1四半期	8,441	—	△204	—	△234	—	△912	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△52.96	—
21年3月期第1四半期	△30.36	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	21,119	693	2.4	16.76
21年3月期	22,346	2,291	9.5	70.40

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 503百万円 21年3月期 2,115百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	1.00	1.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期の配当予想額は未定であります。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	9,000	△46.9	△1,150	—	△1,300	—	△2,000	—	△66.56
通期	21,500	△21.6	△1,100	—	△1,400	—	400	—	13.31

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	30,080,000株	21年3月期	30,080,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	31,225株	21年3月期	30,343株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	30,049,246株	21年3月期第1四半期	30,051,617株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料における予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。
- 2.平成22年3月期の配当予想額につきましては、経営環境の先行きが不透明であり、業績の不確定要素も多いことから現時点におきましては未定とさせていただきます。予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示いたします。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、昨年来の世界的な金融・経済危機による景気後退局面の中で、一部の業種において在庫調整が進み、生産の持ち直しの兆しが見られ、昨年下半年以降急激に悪化した景気は底入れ感があると言われておりますが、大幅に悪化した企業業績、設備・雇用情勢の過剰感など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

鉄鋼業界においては、粗鋼生産の大幅な減産が続き、ステンレス鋼生産においても、一部減産緩和の動きが見られたものの本格的回復にはまだ時間がかかると考えられます。

このような経済状況に対処すべく、当社グループは、特長商品・特長サービスへの特化を推進し、付加価値の向上に努めるとともに、あらゆるコスト削減策を実施してまいりましたが、グループの主要事業である鉄鋼製品事業においては、需要の底打ち感はあるものの本格的回復には程遠く、またモーターサイクル関連部品事業においては、需要回復の兆しなく厳しい状況が続いております。

その結果、当第1四半期の売上高は4,043百万円（前年同期比52.1%減）、営業損失800百万円（前年同期営業損失204百万円）、経常損失857百万円（前年同期経常損失234百万円）となりました。

これに、平成21年5月15日付「ステンレス事業の再構築による収益構造の抜本的改革についてお知らせ」のとおり、設備除却・解体撤去等の一時費用(事業再構築費用)1,669百万円等の特別損失及び法人税等調整額等が加わり、当期純損失は1,591百万円（前年同期当期純損失912百万円）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における資産総額は21,119百万円となり、前連結会計年度末より1,226百万円減少いたしました。これは主にたな卸資産等の流動資産ならびに機械装置及び運搬具等の固定資産の減少によるものです。

負債総額は20,425百万円となり、前連結会計年度末より371百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金等は減少したものの短期借入金が増加したため、流動負債が増加したことによるものです。

純資産につきましては、693百万円となり前連結会計年度末より1,598百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は厳しい結果となりましたが、概ね期初計画通りに推移しており、平成21年5月15日に発表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、現時点においては変更ありません。

なお、当第1四半期において、ステンレス事業再構築費用1,669百万円を特別損失として計上しておりますが、これは、上記連結業績予想（第2四半期連結累計期間）に含まれております。また、平成19年12月20日付「みがき帯鋼事業拠点の移転および固定資産の譲渡に関するお知らせ」のとおり、下半期には固定資産の譲渡を予定しておりますが、これにつきましても上記連結業績予想（通期）に織り込み済みであります。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

一部子会社において合理的な予算制度を利用して減価償却費の算定を行っております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,996	2,300
受取手形及び売掛金	3,381	3,189
商品及び製品	3,097	3,342
仕掛品	1,849	1,710
原材料及び貯蔵品	928	1,583
その他	2,142	1,539
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	13,392	13,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,429	2,349
機械装置及び運搬具（純額）	2,709	3,861
その他（純額）	1,313	1,398
有形固定資産合計	6,452	7,609
無形固定資産		
のれん	92	101
その他	318	322
無形固定資産合計	411	423
投資その他の資産		
その他	884	672
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	863	651
固定資産合計	7,727	8,684
資産合計	21,119	22,346

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,516	5,115
短期借入金	9,311	7,867
未払法人税等	9	5
賞与引当金	232	138
事業再構築引当金	200	—
その他	2,132	1,460
流動負債合計	15,402	14,588
固定負債		
長期借入金	3,642	3,811
退職給付引当金	1,141	1,118
役員退職慰労引当金	119	119
その他	118	417
固定負債合計	5,022	5,466
負債合計	20,425	20,054
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	△984	637
自己株式	△4	△4
株主資本合計	514	2,136
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	△1
為替換算調整勘定	△12	△19
評価・換算差額等合計	△11	△20
少数株主持分	190	176
純資産合計	693	2,291
負債純資産合計	21,119	22,346

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	8,441	4,043
売上原価	7,806	4,210
売上総利益又は売上総損失(△)	634	△166
販売費及び一般管理費	839	634
営業損失(△)	△204	△800
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	7	3
受取技術料	14	14
助成金収入	—	17
その他	15	8
営業外収益合計	39	46
営業外費用		
支払利息	52	94
その他	16	9
営業外費用合計	69	103
経常損失(△)	△234	△857
特別損失		
前期損益修正損	30	—
固定資産除却損	—	13
工場再編費用	15	0
たな卸資産評価損	584	—
事業再構築費用	—	1,669
特別損失合計	630	1,683
税金等調整前四半期純損失(△)	△865	△2,541
法人税、住民税及び事業税	13	14
法人税等調整額	28	△968
法人税等合計	42	△954
少数株主利益	4	4
四半期純損失(△)	△912	△1,591

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。